

情報 **ピックアップ**

**火災を早く知る  
住宅用火災警報器**

**問い合わせ** とかち広域消防局予防課（消防局庁舎3階、☎26・9124）

住宅用火災警報器は、煙や熱を感知して、音や音声で火災の発生を知らせる機器です。全ての住宅に設置が義務付けられています。

**市内の設置住宅での死者はゼロ**

帯広市では、住宅用火災警報器の設置が義務になった平成20年から、住宅用火災警報器を設置した住宅での火災で死者は出ていません。負傷者数も、設置していない住宅での火災に比べておよそ3分の1で、その効果は歴然です。

**被害を最小限にできる**

火災は予防することが大切ですが、万が一起きてしまった場合には、拡大させないことが重要です。ガステーブルに鍋をかけたことを忘れ、警報音で気づき、火災に



なる前に火を消すことができた事例など、住宅用火災警報器は、「早い発見」「早い避難」「早い消火」にとっても有効で、火災による被害を最小限にできます。

寝室（2階に寝室がある家は階段も）への設置は必須です。設置していない住宅は、すぐに取り付けてください。

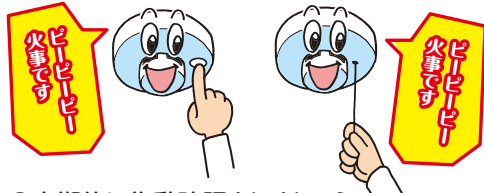
**1カ月に1度は点検を**

住宅用火災警報器の多くは電池式です。古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、煙や熱を感じなくなる場合があります。1カ月に1度は、ボタンを押したり、ひもを引いて作動確認を行います（図）。また、10年を目安に機器を交換しましょう。

**図 住宅用火災警報器の点検方法**

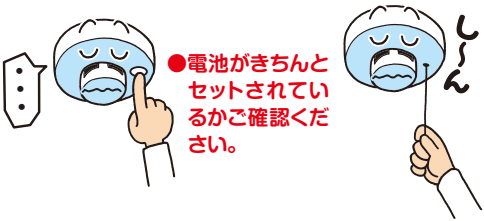
**定期的に作動確認し、音を聞きましょう!**

●ボタンを押す、またはひもを引いて作動確認をします。



- 定期的に作動確認をしましょう。
- 定期的に家族で火災時の警報音を聞いてみましょう。

**音が鳴らない場合は?**



●電池がきちんとセットされているかご確認ください。

- それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」ですので、取扱説明書をご覧ください。

**オビヒロ カメラレポ Obihiro Camera Report**



**昼間とは一味違う雰囲気動物園を満喫**

夏の3日間限定で、開園時間を21時まで延長する「よるの動物園」。ライトアップされた遊具や夜の動物の姿を楽しむ家族連れなどがたくさん訪れました。飼育員によるスポットガイドでは、動物の興味深い生態や自然界での現状を紹介していました。いつもは眠っている時間だというチンパンジーが、来園者を迎えるために起きていたり、夜行性の動物だけでなく、普段は見られない動物たちの表情に出会うことができました。（7月29日～31日、動物園）



幻想的に照らされた遊具



人形劇団「でく」のパネルシアターと、人形劇一座「パセリ座」の人形劇が上演され、30年以上活動を続ける両劇団の演技に、親子連れなど約30人は物語に引き込まれるように見入っていました。児童会館では毎月、十勝人形劇協議会による人形劇などを上演しています。誰でも無料で観覧できるので、ぜひ立ち寄ってください。（7月16日、児童会館）



**帯広の水を見る週間**

帯広市の上下水道について知ってもらおうと毎年開催しているパネル展。今年は、緊急貯水槽から水をくみ上げる手押しポンプを展示し、災害時の対応を紹介した他、水道水のペットボトル「おびひろ極上水」を試飲した感想や、マンホールの表面をデザインした「カラーマンホールふた」の設置についてアンケートを行いました。（7月25日～29日、市庁舎市民ホール）

帯広市の上下水道について知ってもらおうと毎年開催しているパネル展。今年は、緊急貯水槽から水をくみ上げる手押しポンプを展示し、災害時の対応を紹介した他、水道水のペットボトル「おびひろ極上水」を試飲した感想や、マンホールの表面をデザインした「カラーマンホールふた」の設置についてアンケートを行いました。（7月25日～29日、市庁舎市民ホール）

**市政のお知らせを放送しています**

- ◆ラジオ（毎週月・水・金曜日）おびひろタウンインフォメーション (FM-JAGA77.8MHz) 9:15～9:20 おびひろ広報メモ (FM-WING76.1MHz) 9:30～9:35
- ◆テレビ 市役所だより (OCTV 11ch) 毎日4回放送していて、市ホームページからもご覧になれます。

**広報おびひろの感想を聞かせてください**

最後まで読んでいただきありがとうございます。よりよい広報紙にするために「こうした方が読みやすい」など皆さんの感想をお聞かせください。問広報広聴課（市庁舎3階、☎65・4109、F23・0156、✉report@city.obihiro.hokkaido.jp）

広告